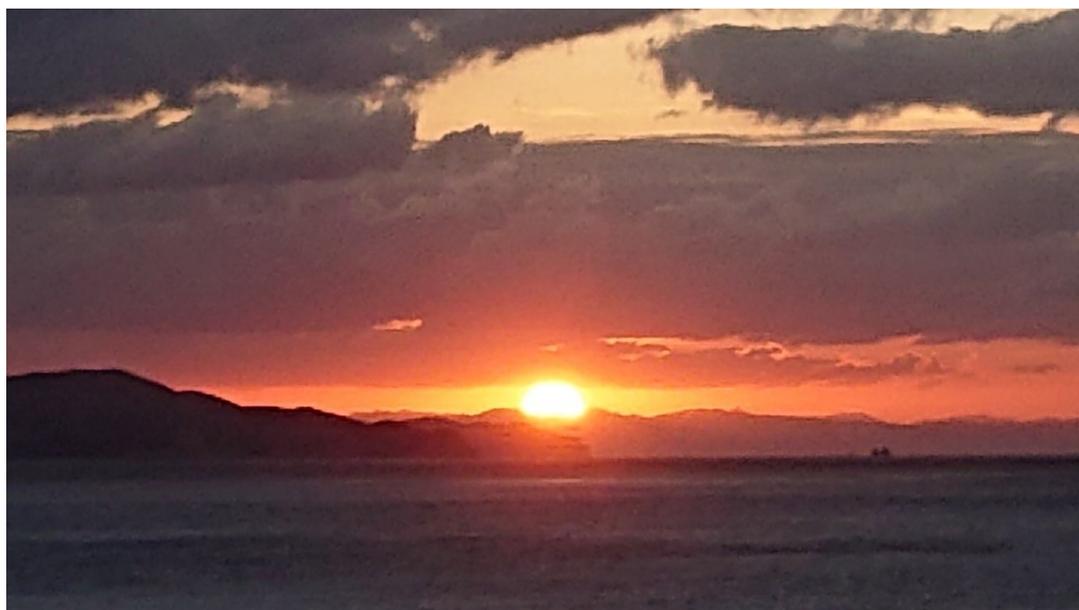


# 「みらいへの投資報告 2020」 第 4 号 インベスターズ リポート

2019.01～2019.12 の活動を中心に



## Investors Report 2020 MIRAI - Vol.4 -

第Ⅱ期 中期計画 2019年1月～2021年12月	P 2
第2回「地域おこし人サミット2019」(参加案内)	P 4
「テーマ&ネットワーキング」News 目次	P 5
活動記録「テーマ&ネットワーキング」News(P6 ～ P37)	P 6
地域おこし人サミット 座長紹介	P15
地域おこし人サミット 2019 記録集(P16 ～ P28)	P16
決算報告	P38
貸借対照表 正味財産増減計算書(収支計算書)	
みらい「ミレニアム倶楽部」	P41
未来を創る財団 概要	P43

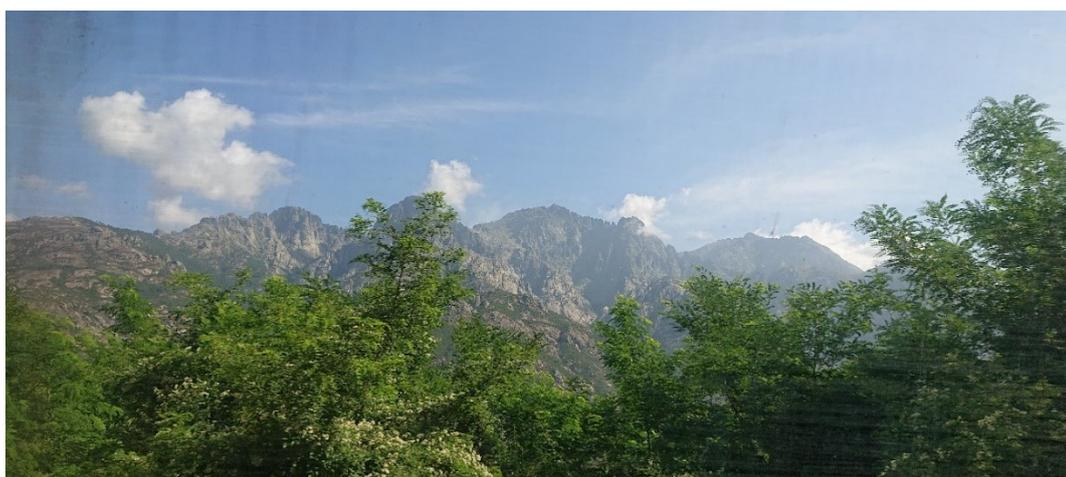
一般財団法人 未来を創る財団

## 第Ⅱ期 中期計画

2019年1月1日～2021年12月31日

### 【目標】

第Ⅰ期中期計画以来掲げる4つのテーマ相互の関係性を高め、プロジェクトの目指す成果を深化させること。



### 【プロジェクトの対象領域】

「地域活性」地域社会・地域文化の再構築と新たな展開

「国際交流」グローバル化地域・社会に対応した新たな「交流」にとりくむ

「女性活躍」女性が活躍できる社会の構築へ「社会の生産性改革」にとりくむ

「教育改革」グローバル化社会、デジタル・AI社会での「自立・決断・責任」教育

### 「第Ⅱ期 中期計画プロジェクト」

地域活性 「地域おこし人サミット」 磯山友幸座長

国際交流 「定住外国人政策研究会」 國松孝次座長

女性活躍 「社会生産性研究会」 齊藤 惇座長

教育改革 「デジタル・AI時代におけるリベラルアーツ」(座長未定)

### 活動内容：

#### 「地域活性」－地域おこし人－

日本の将来を左右する重要課題の一つ。行政主導によるアプローチでは限界がある。地域の活性化には、何よりも、明治以来各地域から失われつつある地域の文化を地域自ら再興することが不可欠である。

地域の魅力、特色、愛着を大切にして、地域文化を再興し、地方・地域を再生する。

2018年に立ち上げた「地域おこし人サミット」プロジェクトを進展させ、持続的活動を推進する。

## 「国際交流」－定住外国人－

他国・地域からの人びとの受け入れや、異文化との交流による刺激・触発・活性は新たな未来を拓く活力と可能性を人びとに与える。

第Ⅰ期から進めてきた定住外国人政策研究会の活動をベースに、生活者としての定住外国人を受け入れる多様性と、調和のある社会の体制整備への諸活動の支援を継続する。

## 「女性活躍」－社会の生産性改革－

日本社会で女性が活躍する比率は、国際比較でひき続ききわめて低い水準にある。

おもな要因は、労働に対する評価基準の問題と、女性に固有の課題に対する社会全体の態勢、対応が不十分であること。背景に、職場・職域での長時間労働の問題がある。

低いと言われている生産性の真の要因を発掘し、日本の生産性を、多くの先進国が果たしているレベルへ到達させることは、女性活躍社会への必須条件である。

構成するあらゆるセクターを視野に「社会の生産性改革」に取りくむ必要がある。

## 「教育改革」

『いつの時代も、どの国でも、一国が岐路にたつとき、あるいは未来に希望を見出したとき、必ず教育の重要性が説かれるものである。』 「いま教育改革が目指すもの」より  
ニュースレターFuture+ 第4号 遠山敦子氏

### 日本がいま直面する問題として

- 1 これまで日本が経験したことがない少子化、高齢化の到来。  
その時、今の子どもたちは果たして満足できる人生を自ら紡ぎだせるか。
- 2 世界はグローバル化の波に洗われている。これからの人生を生きる子どもたちにグローバル時代を生き抜く力を身につけるよう教育の力点を置くことが不可欠である。
- 3 日本は膨大な財政赤字、社会保障費の増大という避けがたい難問に直面し、これらをどう解決していくのか。

教育には、いかにして困難に立ち向かい創造性やイノベーション力を発揮でき、他者と協働できる優れた資質をもつ人材を育成していくかが極めて重要な課題となる。

日本の教育の質的向上には、大学の改革こそが不可欠である。大学の在り方が変われば、その下の高等学校教育が変わり、次第にその下の段階の学校に影響が及ぶ。

社会の側においても、将来性ある真に実力を備えた人材の育成のために、理解と支援が必要である。

教育の果たす役割は想像を超えるものがある。教育への投資が巨大な果実を生むことを忘れてはならない。(同上)

### － 中期計画の推進を通じて －

グローバル化の進展とデジタル社会の進化、それらに伴う新興国他諸国の急成長、並行して進むそれら国々の成熟化を視野に、現代社会がかかえる中長期的な課題解決の一助に取り組む。

# 2019.06.29-30 『地域おこし人サミット 2019』（参加案内）

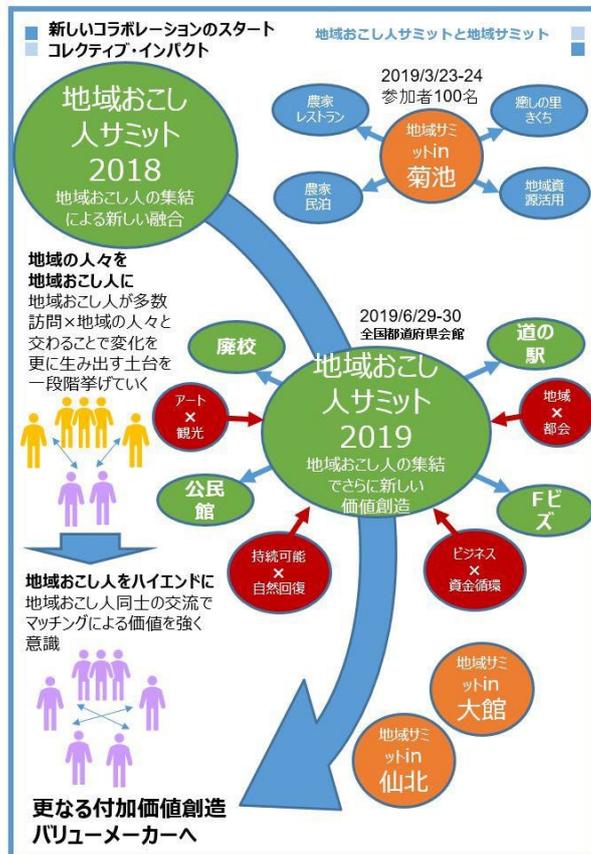
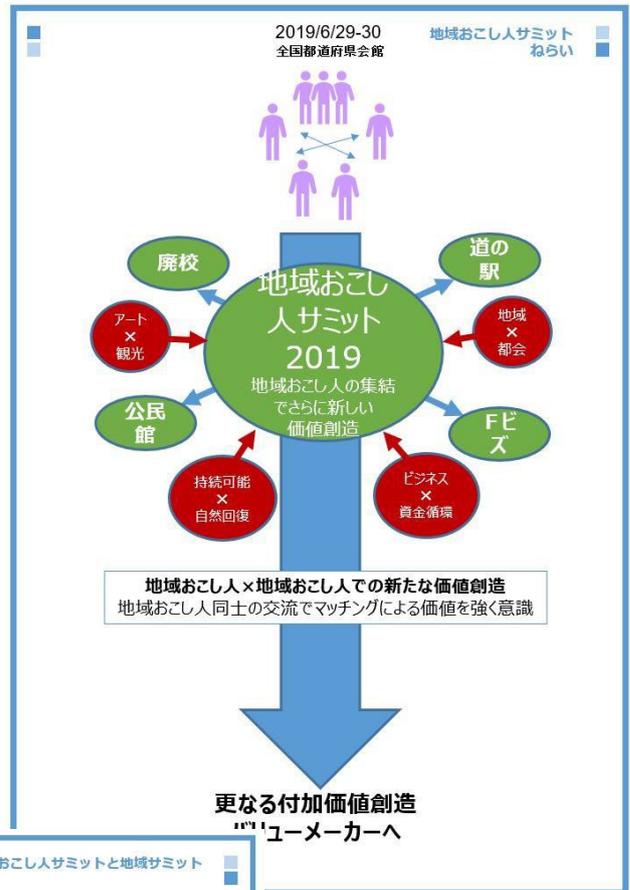


## 日本全国のキーパーソン 再集結! 地域おこし人サミット2019 (第2回)

日時：2019年6月29日(土)-6月30日(日)  
 ・開会 6/29(土) 13:45-13:55  
 ・分科会 6/29(土) 14:00-17:30  
 6/30(日) 10:00-11:30  
 ・全体会 6/30(日) 13:00-16:30  
 会場：全国町村会館（千代田区永田町）  
 主催：未来を創る財団  
 後援：Wedge  
 参加費：一般5000円関係者2000円 消費税含

参加人数  
約130名

一般財団法人  
未来を創る財団



## 「テーマ&ネットワーキング News」



### 2019年1~12月「活動記録」

2019.01.15	News	百賢アジア研究院	6
2019.01.27	News	大館市「比内地鶏市」	7
2019.02.22		未来を創る財団「懇親会」	8
2019.02.24		地域おこし人「地域サミット in 菊池」(お知らせ)	9
2019.03.24	News	地域サミット in 菊池	10
2019.03.24	News	ミャンマー日本語学校「ジェイサットアカデミー」を訪門	11
2019.05.10		地域おこし人サミット 2019 参加のご案内	12
2019.07.07		地域おこし人サミット 2019 記録集	16
2019.09.09	News	大館市再訪	29
2019.09.19	News	グローバル愛知設立 1 周年総会	30
2019.10.21	News	仙北市役所訪問	31



### 2020年1~2月 活動

2020.02.03	News	熊本市 KIRARI.CO 訪門	32
2020.02.05	News	会津アイズアイズ	33
2020.02.14	News	未来を創る財団「懇親会」	34
2020.02.24	News	尾道市御調町・菅野地区「柿の里」	35
2020.02.25	News	「神石高原町」訪問	36
2020.02.26	News	総社アートハウス訪問	37



2019.01.15 News 百賢アジア研究院「AFLSP 奨学生懇親会兼新年会 2019」

百賢亜州研究院（香港）は、百賢教育基金（香港）の出資により設立され、奨学金及びその他関連する教育プログラムを運営している教育基金。



創設者、香港出身のロナルド・チャオ氏（名誉理事長）は1958年日本に留学し、東京大学工学部に入学した。学生時代、NPOの企画する学生交流のプログラムに参加した経験が生涯の財産になったと私財を投じて「アジア次世代指導者奨学金プログラム」The Asian Future Leaders Scholarship Program (AFLSP) を創設。同時に東京で日本百賢アジア研究院を設立し、次世代のアジアの指導者育成のビジョンで活動を進めている。

日本百賢アジア研究院では、今秋で5年目を迎える「アジア次世代指導者奨学金プログラム AFLSP」で、今年も日本の大学に在籍する奨学生および日本で活躍している卒業生を招き「AFLSP 奨学生懇親会兼新年会 2019」を開催。当日は、百賢亜州研究院ロナ・チャオ CEO が香港から来日。奨学生のネットワークの構築支援を支えることは重要なミッションの一つであるとして、日中の若者の交流・友情・理解、アジアの指導者育成を促進したいと述べた。

AFLSP では、毎年100名ほど、アジアの次世代の指導者となることが期待される高い能力と向上心を持つ学生・研究者を選抜し、12～24ヶ月の奨学金を支給するプログラムを実施している。<http://baixianjapan.com/>

未来を創る財団では2017年1月、香港にロナルド・チャオ氏を訪ね、今後の交流を約した。関連掲載記事：2017.1.12「日中アジア、学生交流・奨学基金に私財－香港の篤志実業家曹基鏞氏を訪問」<https://bit.ly/3czEMDw>





## 2019.01.27 News 大館市「比内地鶏市」比内グラウンド

1月26日（土）～27日（日）大館市恒例の比内地鶏市に、地域おこし人サミット実行委員として参加した。

会場中央に造られた神殿では、メイン行事である比内鶏の供養とともに全ての食鳥の霊に感謝する「感謝祭」、神楽の奉納などが行われる。特産の曲げわっぱで作られた曲げわっぱ太鼓も恒例の催し。大館が故郷の秋田犬は会場の人気者。



「比内鶏」は、1942年に指定を受けた国の天然記念物。生育もむずかしいが、天然記念物だから食することはできない。「比内地鶏」は、雌のロードアイランドレッドと掛け合わせた一代雑種で「比内鶏」とは異なる。



雪のちらつく会場の広場は、市民総出で祭りが盛りあがる。  
会場の一角、比内体育館内の模擬店は長打の列。



今回は、来年にも企画中の地域サミットの取材を兼ねた見学。



## 2019.02.22 News 未来を創る財団「懇親会」

財団恒例の理事、監事、評議員、ミレニアム倶楽部会員および財団活動へ支持、支援くださる方がたとの「懇親会」を開催した。

日時：2019年2月22日（金）18:30～

場所：霞が関「シーボニアメンズクラブ」

当日は、國松会長、武田理事、河合理事、石坂代表理事、藤沼監事、佐藤監事、浜村評議員、麻植事務局長の他、下記プロジェクトの座長も一同に会した。

プロジェクト座長：

定住外国人政策研究会・國松孝次座長（財団会長）、地域おこし人サミット・磯山友幸座長（ジャーナリスト）、社会生産性研究会・斉藤惇座長（プロ野球コミッショナー）



当懇親会恒例のスイス・白ワイン「シャスラ」、乾杯の音頭は元スイス大使國松会長。

今年準備したのは、昨年秋のシャスラ種全スイス・コンテストで3度目のゴールド・メダル受賞のワイン農家 Domain Du Moulin から取りよせた。皆で乾杯したいと祝意を述べると、日本出身のご夫人から、夫が喜んでいて、乾杯用に半ダース、皆さまにプレゼントするとメッセージをいただいた。



21:30、丸の内で経営塾 EAT を率いる

岡村進理事が、社会人塾生 10 人とともに参会。後半戦は、さらに盛り上がり、若手社会人からは、財団活動への期待と同時に、多くのヒントをいただいた。

# 地域おこし人「地域サミット in 菊池」(お知らせ) 2019.02.24



## キーパーソン集結! 2019 地域おこし人“地域サミット” 菊池

日時：2019年3月23日(土) - 24日(日)

- ・集合 3/23(土) 12:00 熊本空港
- ・地産ランチ 3/23(土) 13:00 - 14:30
- ・特産視察 3/23(土) 14:30 - 17:30
- ・地域懇親会 3/23(土) 18:30 - 21:00
- ・朝茶会 3/24(日) 09:00 - 10:00
- ・ミニサミット 3/24(日) 10:00 - 12:00
- ・視察 3/24(日) 13:00 - 15:00
- ・解散 3/24(日) 16:00 熊本空港

会場：熊本県菊池市

主催：一般財団法人 未来を創る財団

地域おこし人サミット2019 (後援：Wedge)

一般財団法人

地域おこし人“地域サミット”菊池  
参加予定キーパーソン

主な参加予定キーパーソン

- ・長野 長野県立大学真野毅教授
- ・徳島 「株式会社えんがわ」 隔田徹代表
- ・高知 「四万十ドラマ」 畦地履正社長
- ・熊本 「自然派きくち村」 渡辺義文社長
- ・熊本 「無農薬無肥料農家」 実取義洋氏
- ・熊本 菊池市 江頭実市長
- ・宮崎 「カテナ」 宮田理恵社長
- ・鹿児島 「中村酒造場」 中村取締役・杜氏
- ・東京 「ファンドレックス」 イノウエヨシオ取締役
- ・徳島 生津勝隆・写真家(神山町)
- ・静岡 「あらまほし」 戸田代表取締役
- ・未来を創る財団 代表理事 石坂芳男 (元トヨタ自動車副社長)
- ・「地域おこし人サミット」 座長 磯山友幸 (経済戦略構想・ジャーナリスト)
- ・東京 川瀬政美・地域づくりコンサルタント

調整中

- ・五月女圭一 株式会社ゲイト代表取締役
- ・河内ひとみ 広島県大竹市立玖波公民館職員

参加要領：熊本空港または直行菊池市までの旅費自費負担  
お申込み：キーパーソンの推薦をつけ2月28日までに事務局へ



主 催：「次世代に明るい未来をおくる」未来を創る財団  
ご連絡：事務局長 麻植 茂(おえしげる) 080-3330-3584  
abrighterfuture@theoutlook-foundation.org

キーパーソン集結!  
地域おこし人“地域サミット”菊池

**3月23日(土)**

12:00 集合：熊本空港  
↓  
12:50 (JR利用の方は、空港バスで空港までお越しください。) 菊池市内まで用意のバスで移動。

13:00 農家レストランでランチ  
↓  
14:30

14:30 菊池市の地域おこしの拠点、現場の視察  
↓  
17:30 移動 宿舎でチェックイン

18:30 地域の生産者や地域おこしのキーマンとのバーベキュー  
↓  
21:00

**3月24日(日)**

09:00 モーニングコーヒータイム  
↓  
09:55

10:00 ミニサミット (パネルディスカッション)  
↓  
12:00 昼食

13:00 菊池市の地域おこしの拠点、現場の視察  
↓  
15:00

15:00 用意のバスで空港へ移動  
↓  
16:00 解散：熊本空港

プログラムは現地の状況により変更することがあります。



## 2019.03.24 News 地域サミット in 菊池

「地域おこし人サミット 2018」につづき、今年も6月29日、30日の両日「地域おこし人サミット 2019」(後援 Wedge)を開催する。これに先立ちサミット実行委員会では、未来を創る財団と熊本県菊池市とで、地域で開く「地域サミット in 菊池」を共同開催した。日本各地からの地域おこしキーパーソン15人が参加したラウンドテーブルに加えて、地域の市民、生産者、事業者が参加し約50人の市民参加地域サミットでは、菊池における地域おこしのさまざまな事例、他地域のキーパーソンによる成功例や提案が交換、共有された。日ごろ、地域おこしに接していない一般の市民からも活発な意見が出され、今後の地域おこし活動がさらに加速することと期待される。



地域サミット終了後、参加市民を交えて記念写真(撮影:写真家生津勝隆氏)地域サミットに先立つ前夜のバーベキュー懇親会では、多くの市民、事業者、生産者にも参加いただき、地域おこしを共有、翌日のサミット効果を高めた。



初日農家レストランで顔合わせ 震災から復活、名勝菊池溪谷 市長:街にはグルメも必要  
農家レストラン、菊池溪谷、酒造美少年、廃校利用施設、市自慢の新図書館、サミット、  
グルメランチ後、ココファームを視察、6月のサミット再会を期し、熊本空港で解散。



2019.03.12 News ミャンマー日本語学校「ジェイサットアカデミー」を訪問

ヤンゴンの日本語学校「ジェイサットアカデミー」を視察訪問した。

同アカデミー代表西垣充氏からミャンマーの現状、学校の経営方針につき、説明を受ける。西垣氏からは2月に当財団ニュースレターみらい19号に「毎月2万人以上が海外に流出—いま、ミャンマーは」の寄稿をいただいている。<http://ur0.biz/QpkX> 右の写真は卒業生の就職内定リスト。入学には、入学希望後7度にわたる面接が要る。合格率5%の難関。



すべてのミャンマー人がいい人とは限らないので面接選考は重要、と西垣氏。職場でも「日本人ははっきり言うより、あいまいな言い方を好む」と事前教育する。



(教室には日本全土の地図。日常や赴任地で戸惑うことのないよう配慮がされている。)



(訪問記念撮影)

ミャンマーは長年の軍政から民政に移行中。産業の育成は途上にある。高学歴者は海外で就職する機会が多くなっているが、単に稼ぐためではなく、日本企業を選ぶ人たちは、将来の国造りに貢献する志をもっている可能性が高い。親日国ミャンマーで高い志をもって日本語と日本文化の教育に取り組む

西垣氏に心より声援を送りたい。

女性は30歳前後で、また男性も多くの人々は、いつか帰国して、ミャンマーの産業に役立ちたいと考えている。

プログラム



キーパーソンが全国各地から大集結!  
地域おこし人サミット2019  
JIN

日時：2019年6月29日(土) - 30日(日)  
場所：全国町村会館 帝国ホテルグループ  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-35  
TEL03-3581-0471(代表)  
<http://www.zck.or.jp/kaikan/>

主催：未来を創る財団  
後援：Wedge

facebookページ  
<https://www.facebook.com/events/1038552673005205/>

#地域おこし人 #地域おこし人サミット

 一般財団法人  
未来を創る財団

キーパーソンが全国各地から大集結！  
地域おこし人(じん)サミット2019

～地域力を活かして、連携型の地域課題解決を深化させる～

昨年、初めて開催して大好評とともに新しい賑わいを生み出してきた「地域おこし人(じん)サミット」を今年は、地域の現場に出かけて、キーパーソンと共に語り合い、新たな展開が生み出されていくように仕向けていきたいと思ひます。知恵と情熱で地域に変化をうみだそうとしている方々の参加をお待ちしております。

地域に新しい「解決する力」を生み出すために～ヒト、地域、課題、みんなでもつとできること～  
日本の各地には、地域おこしに取り組み、素晴らしい成功例をもつ地域おこしのキーパーソンがおられますが、相互のノウハウ共有や連携には至っていません。本企画では、実際に地域の課題解決の現場を訪れて、地域や業態での成功体験、ノウハウをヒントとして、それぞれの地勢、風土、気風、歴史などの特性を活かして、取り組みが進む状況と今後の課題を伺いながら、多彩な「地域おこし人」メンバーとのダイアログによって、地域文化の再生・交流、ノウハウの共有・拡大、都会人脈のネットワークづくり、ファンドレイジングの応用など、地域戦略の構築、進展を目指します。

【地域おこし人サミット2019開催概要】

日程：2019/6/29(土)、6/30(日)

【第1日目】6/29(土) 13:00開場 開会13:15- 分科会13:30-17:30 懇親会18:00-20:00

【第2日目】6/30(日) 分科会10:00-11:30 全体会13:00-15:00 交流会15:30-17:00

会場：永田町・全国町村会館 交流会のみアンカーポイント(海運ビル1F)

参加費(懇親会含む)：一般5000円(消費税含む)

主催：一般財団法人 未来を創る財団「次世代に明るい未来をおくる」

後援：株式会社ワエツ

進行管理：株式会社ファンドレックス



エクセル東急赤坂



6/29土 13:00集合 全国町村会館  
13:15-13:30 オープニング(ホールB)

地域おこし人サミット2019  
プログラム詳細

6/29土	会場1(ホールB 84席)	会場2(第1会議室 42席)
13:30	<b>分科会1</b> 行列のできる相談所が 地域ビジネスを活性化する  松山真之助(熊本県人吉市Hit-Biz) 池内精彦(広島県福山市フクピズ)	<b>分科会2</b> 動物とヒトとの協働で 地域活性化を実現する  相馬行胤(福島県相馬藩34代目) 船橋慶延(岩手県八幡平ジオファーム)
15:00	隅田 徹(徳島県神山町えんがわ) 彌尾雅隆(日本ファンドレイジング協会) F磯山	菅取義洋(熊本県菊池市菅取耕園) F水代
コーヒーブレイク		
16:00	<b>分科会3</b> 廃校活用から始まる地域と都会の 新たな流通関係  尾畑留美子(新潟県佐渡真鏡酒造) 五月女圭一(ゲイトCEO)	<b>分科会4</b> 公民館という場づくりから 地域を繋ぎなおしていく  河内ひとみ(広島県大竹市玖波公民館) 伊藤大貴・志賀久美子(横浜市753)
17:30	田中洋之(山口油屋福太郎(福岡めんべい)社長) F水代	江角悠太(三重県志摩市民病院院長) 中村慎弥(鹿児島県霧島市中村酒造場) Fイノウエ
18:00 20:00	懇親会(ホールA)	
6/30日	会場1(ホールA 60席)	会場2(ホールB 52席)
モーニングコーヒータイム(朝飯後)		
10:00	<b>分科会5</b> 令和時代の新しい「志」金循環カタログ  水谷衣里(世田谷コミュニティ財団) 保田康明(神戸大学院准教授)	<b>分科会6</b> 道の駅2.0の新たな挑戦  畦地順正(高知県四万十ドラマ) 森本健次(京都府南山城村道の駅)
11:30	イノウエヨシオ(神石高原チャレンジ基金) Fイノウエ	備後克則(石川県羽咋市道の駅) F畦地
13:00	<b>神石高原町ほか自治体首長による講演</b> <b>大館市 工藤課長 仙北市 斎藤主事</b>	
14:00 15:00	全体セッション F磯山 <b>「地域おこし人の条件とは」</b>	
15:30 17:00	[交流会]アンカーポイント(海運ビル1F)	

## 座長紹介

 <p>地域おこし人名鑑</p>	<p>地域おこし人サミット 磯山友幸座長 (地域おこし人名鑑 P10 より)</p> 
<p>経済戦略の達人</p> <p>経済ジャーナリスト</p> <p>磯山 友幸</p> <p>isoyan.t@gmail.com</p> <p>03-6272-6285</p> <p><a href="http://isoyamatomoyuki.com/">http://isoyamatomoyuki.com/</a></p> <p>磯山友幸のブログ 各種メディアに投稿した記事を掲載しています。 <a href="https://isoyant.hatenablog.com/">https://isoyant.hatenablog.com/</a></p>	<p>経済政策を中心に 政・財・官を幅広く取材しています</p> <div data-bbox="624 987 1422 1274" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>各種メディアに執筆するほか、講演やテレビ出演、勉強会の主宰など幅広く活動しています。</p></div> <p>日本経済新聞の記者や「日経ビジネス」副編集長などを 経て、現在、経済政策を中心に政・財・官を幅広く取材、 各種メディアに執筆するほか、講演やテレビ出演、勉強 会の主宰など幅広く活躍。『2022年「働き方」はこうなる』(PHP ビジネス新書)など著書多数。早稲田大学政 治経済学術院(大学院)非常勤講師、上智大学非常勤講 師、ボーイスカウト日本連盟理事、静岡県ふじのくにづ くりリーディングアドバイザー。 地域おこしの現場を歩き、ユニークな取り組みをまとめ た「地域再生のキーワード」を4年にわたって月刊 Wedge に連載した。</p> <p>所在地：東京都 職種：経済ジャーナリスト</p>

# 地域おこし人サミット 2019

主催：未来を創る財団 後援：Wedge

2019/6/29（土）13:30～6/30（日）15:00 全国町村会館



13:15 開会。未来を創る財団國松孝次会長は「昨年、大変ご好評をいただいたので、第2回サミットを催しました。昨年にも増して多くの達人にご参集いただき、感謝申し上げます。」と挨拶。



## 会長挨拶

昨年開いたこのサミットでご好評をいただき、再びWedgeのご賛同を得て、第2回開催の運びとなりました。

各地域でご活躍されている地域おこし人の面々が一同に会する年に1回の機会です。

地域の活性化を通じて日本社会が活力をとり戻し、次世代に明るい未来を伝える一助となることを祈念しています。

6/29(土)6/30(日)の2日間、110名方がたにご参加いただきました。

分科会1 13:30～15:00(ホールB)「行列ができる相談所が地域ビジネスを活性化する」  
コメンテーター：松山真之介(熊本県人吉市 hit-Bis) 池内精彦(広島県福山市フクビズ) 隅田徹(徳島県神山町えんがわ) 鶴尾雅隆(日本ファンドレイジング協会) F:磯山友幸





分科会2 13:30~15:00(第1会議室)「動物とヒトとの協同で地域活性化を実現する」  
コメンテーター: 實取義洋(熊本県菊池市實取耕房) 相馬行胤(福島県相馬藩 34 代目) 船橋慶延(岩手県八幡平ジオファーム) F:水代優



分科会3 16:00~17:30(ホール B)「廃校活用から始まる地域と都会の新たな交流」  
コメンテーター: 尾畑留美子(新潟県佐渡尾畑酒造) 五月女圭一(ゲイト CEO) 田中洋之(福岡めんべい社長) F:水代優



分科会4 16:00~17:30(第1会議室)「公民館という場づくりから地域を繋ぎなおしていく」  
コメンテーター: 河内ひとみ(広島県大竹市玖波公民館) 伊藤大貴・志賀久美子(横浜市 753)  
江角悠太(三重県志摩市民病院院長) 中村慎弥(鹿児島県霧島市中村酒造) F:イノウエヨシオ



～ コーヒーブレイク ～



… 懇親会 …

(ホール A)18:00～20:30



後援の Wedge 塩川編集長から懇親会のご挨拶。  
のぞみ号の開業にあたり、グリーン車の乗客をターゲットに硬派の  
経済誌が開発された歴史も紹介。セッションで、取材のテーマもつ  
ぎつぎ発掘したと披露。地域おこしと Wedge は相性がいい。





全体セッション 13:00~15:00

入江嘉則(神石高原町長)

工藤剛(大館市観光課長) 齋藤郁弥(仙北市地方創生・総合戦略室主事)



「神石高原町長ほか自治体首長による講演」入江嘉則(神石高原町長)

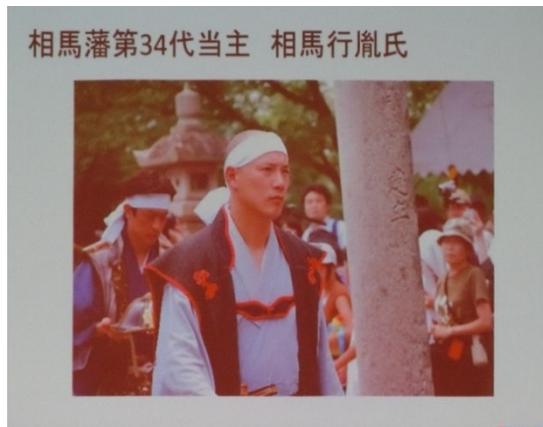
入江嘉則神石高原町長

分科会2と5に登場した神石高原町



福島県相馬藩 34代当主は広島県神石高原町民

神石高原町はこんなところにある



勿論、各セッションに参加し大いに弁舌をふるった

つぎは秋田県大館市工藤観光課長(右) 仙北市齋藤総合戦略室主事(左)の出番



まず工藤課長

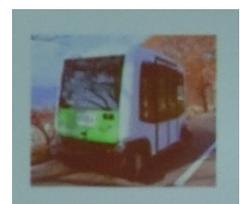


大館は秋田犬だけではない、きりたんぼ、比内地鶏、曲げわっぱ、秋田犬のルーツはマタギの里

地域おこし協力隊として活躍した齋藤主事



神秘的な田沢湖、秘湯乳頭温泉郷、大地の息吹玉川温泉。  
全国に先駆けて、公道での自動走行にもチャレンジしている。  
函館をいれて、仙北市角館、大館市で3タテを結んで地域連携もある。  
サミット実行委員会事務局長から秋田県北部での「地域サミット」の呼びかけもある。



全体セッション 13:00～15:00

「地域おこし人の条件とは」 F:磯山友幸座長



自治体との関わりが長い全国町村会武居事務総長（右）が特別参加され、3市町村のプレゼンテーションに感想と、市より大きい町村もある、平成の市町村合併の特例もあり、市町村とその地域のサイズは一様ではないと解説。



コメンテーターから総括意見



論客ぞろい、各セッションの議論を誘導した。

達人のノウハウを引きだし、交流、共有させる達人の面々 ~おつかれさまでした~

## 座長とファシリテーター

座長・1 ファシリテーター:磯山友幸



4・5 ファシリテーター:イノウエヨシオ



6 ファシリテーター:睦地履正



2・3 ファシリテーター:水代 優

## オーディエンス



オーディエンスの真剣な議論と眼差しが印象的でした。

印象的といえば、三重県志摩市民病院江角悠太院長。病院から地域おこしを行う総合医が必要と。医師1人、赴任5年で、5億円の赤字を解消。今、病院が町おこしの中心になっている。人類 60 億人を幸せにするのが人生の目標！

## 閉会の辞

未来を創る財団石坂代表理事から

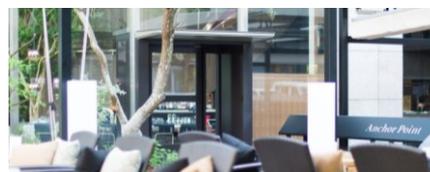


皆様のご協力で、昨年にも増して多くのキーパーソンにご参加いただき、あつく感謝申し上げます。

この場での交流、新たな発見、お互いの情報交換、友情、さまざまなものをお持ち帰りいただくことと思います。

地域おこし人名鑑もご活用いただいて、さらなる地域おこしに、皆さんで手を携えて邁進いただくようお願い申し上げます。

おーっと、まだ終わっていません・・・  
いざ「交流会」アンカーポイントへ！



## 【 地域おこし人名鑑 】 地域おこしのキーパーソンを 48 名収録



来年はさらに多くの方がたのエントリーをおまちしています

また、お会いしましょう



ご意見、ご提案は；  
未来を創る財団  
事務局 [abrighterfuture@theoutlook-foundation.org](mailto:abrighterfuture@theoutlook-foundation.org)  
事務局長 麻植 茂（おえしげる）  
ご参加、ありがとうございました。



未来を創る財団へのご声援は みらい 『ミレニアム倶楽部』へ  
【口座：三菱東京 UFJ 銀行青山通支店 普通預金 0214497 未来を創る財団】

<追補>

セッションに参加された東京学芸大学附属国際中等教育学校の生徒さんからの投稿です。国際中等教育学校の皆さん、ご参加ありがとうございました。

感想文：

ボランティア部でもそうですが、私は身近な国内の、地域の課題解決より海外の国際支援の方に目を向けて活動してきました。しかしやはり地域にも目を向けたい、新しい知識を身に付けたいと思いこの地域おこし人サミットに参加しようと思いました。参加した上での率直な感想は、難しい！です笑

みなさん経営者として、ビジネスとして地域おこしをなさっていて、物流について、雇用の給料についてなど、社会人にしかわからない世界の話が多くありました。しかし、確実にわかったのはみなさんビジネスとして活動しているにも関わらず「生産性」などより「喜び」を大事にして活動している、ということです。

100%佐渡産のお酒「真野鶴」を作る酒造会社を運営している尾畑さんがおっしゃっていたことですが、みなさんのやっていることは一般の経営者から見たら非効率的と言えます。しかし、安く効率的に大量生産しても喜ぶのは誰でしょう？

この言葉を聞いて私は感銘を受けました。本当にその通りだと思いました。今の社会では「ビジネス」と聞くと生産性や効率、結果を重視してしまいがちですがそうじゃない社会に変えていきたい、と思いました。

また、尾畑さんがおっしゃっていたことですが「『地域』と『都会』として捉えるのではなく『世界でたった1つの場所』として捉えることが大事」というお言葉にも感心しました。

私が行っている海外での国際協力においても、その場所の課題をただ解決するだけでなく魅力を生かすことが大事なのだと感じ、何か自分の活動においてできることはないか考えを巡らせているところです。

この地域おこし人サミット2019に参加し、新しい視点や考え方を知ることができ、とてもためとなった時間でした。地域おこし達人の皆様とのお縁とお聞きできたお話を大切にし、これからの活動に生かしていきたいです。

またもう1つ、地域おこしとは少し離れますが、日本ファンドレイジング協会の鵜尾さんの社会的投資、ソーシャル・インパクト・ボンドの話がとても印象に残っています。現在日本では、医療面でこのソーシャル・インパクト・ボンドが行われていて、医療機関等に投資し、入院患者が減った分削減できたコストを資金提供者に返す、という仕組みになっています。休憩時間中にも歯科の面でソーシャル・インパクト・ボンドの事業を行っている方からお話をお聞きすることもできました。このような事業があることを初めて知り、とても感心しました。こんな素晴らしい仕組みがあるのになぜほとんどの人は活用しないのだろう？と思い、鵜尾にお聞きしたところ、予算が減ることになり、それは「仕事が少ない」という印象になり、特に自治体からしたら微妙な感情であるから、と聞きました。なるほど、と思い、私は個人的に何かこのソーシャル・インパクト・ボンドと関連した活動を試みたいと強く思いました。

(了)



## 2019.09.09 News 大館市再訪

1月の大館市恒例の比内地鶏市を見学後、9月13日（金）に再訪。福原市長と地域サミット開催について協議し、仙北市と連携して開催する案に賛同いただいた。



1月は踝骨折で、市長室で比内地鶏市を応援した福原市長を慰問した地域おこし人サミット磯山座長(右)



市長室の壁は地域の地図で埋まっている。UNESCO 世界遺産への推薦が期待される北海道・北東北縄文遺跡群の分布図もある。右手の壁には、秋田犬ハチ公の縁で姉妹都市の澁谷区旗が飾られている。

この地へも正ハリストス教会(1月に視察)



市役所螺旋階段を飾る名物「アメッコ市」ツリー

市長室の地図から、大館～仙北に跨る地域サミットでは、縄文遺跡の視察や、両市間の移動に大館の隣駅から仙北市角館を結ぶ「内陸縦貫鉄道」を利用することが有力案として浮かんだ。沿線には、秋田犬が活躍したマタギの里が点在する。秋田犬のルーツは縄文時代にさかのぼるといふ。



## 2019.09.19 News (一社) グローバル愛知設立 1 周年総会

名古屋で開催された (一社) グローバル愛知の設立 1 周年総会にゲストとして参加した。未来を創る財団が 2016 年 6 月 12 日に名古屋市で主催した外国人受け入れに関する地域意見交換会「愛知県」<https://bit.ly/2v1PYIc> に、ナガサキ工業 (株) 長崎社長がラウンドテーブルのメンバーとして参加されて以来の縁。

その意見交換会の討議で勇気を得た長崎社長は、同志とともに昨年、一般社団法人グローバル愛知<https://global-aichi.or.jp/>を立ち上げた。

意見交換会の後も、相互の意見交換、交流が続いている。

グローバル愛知のミッションは、日本で就職できずやむなく帰国する留学生に就職の機会を開き、あわせて人手不足に悩む中小中堅企業に外国人を採用する道を開くことにある。



グローバル愛知は設立後 1 年で会員企業 100 社、登録留学生延べ 600 人近くに達した。



未来を創る財団では、6 月 12 日 (水) 名古屋を訪問し、グローバル愛知の活動状況について、情報、意見交換をした。説明する長崎代表理事とエリオット・コンティ事務局長。動画メディアの制作を得意とする香港出身の猥氏は、留学生にも分かりやすい会員企業の紹介を担当

する。コンティ氏も猥氏も留学生出身。

二人とも長崎氏がスカウト。他にもナガサキ工業は、活動的な外国人を採用している。



## 2019.10.21 News 仙北市役所訪問

大館・仙北両市の後援を得て開く「地域サミット in 大館・仙北」の打ち合わせを兼ねて、仙北市を訪問した。



9月9日（月）の仙北市訪問で、すでに門脇市長から来年4月下旬開催案の内諾を得ている。

今回はフィナーレに予定される桜満開の角館武家屋敷の下見でもある。この時期、桜は駅頭のポスターで想像。春の時期のはなやかさが偲ばれる。

仙北市の観光資源は、武家屋敷だけではない。幻の固有種クニマスの田沢湖、30年の歴史をもつグリーンツーリズム。

欧米でも盛んなグリーンツーリズムだが、仙北はその草分けになるだろう。

温泉郷は、乳頭温泉・水沢温泉・田沢湖高原温泉・玉川温泉・新玉川温泉、、枚挙にいとまがない。あきた芸術村わらび座は60年の歴史をもち、劇団四季、宝塚歌劇団につぐ規模という。年間訪問者20数万人、全国公演もおこなっている。

<https://www.warabi.or.jp/>

夕刻、仙北市地方創生・総合戦略室を訪問し、「地域サミット in 大館・仙北」案詳細のつめをおこなった。

今回の直後、わらび座山川社長が内閣府との協議で上京され、未来を創る財団石坂代表理事を来訪。来春の地域サミットの宿泊、イベント会場の事前協議。

わらび座創設から、山川氏が創設者原太郎氏に誘われて入団した歴史話も。

来年の「地域サミット in 大館・仙北」にご期待ください。





## 2020.02.03 熊本市 KIRARI.CO を訪問

KIRARI.CO <https://www.kirari-co.info/> 代表取締役の塚本 薫氏を訪問した。

塚本氏は、昨年3月に熊本県菊池市で開催した第1回目の地域サミット、同年6月に開催した地域おこし人サミット2019、いずれにも参加されている。

KIRARI.CO の理念は；「きらり」と輝く「人」を育む

「きらり」と輝く「人」がいる

『なんでも前向きにトライして、がんばっていける人のことです。自分を信じ、人を信じ、行動することのできる人のことです。』『必ず誰もが、どこかに「がんばりスイッチ」を持っていることを信じています。そのスイッチは、何かのきっかけに「ON」になれるのです。』

一角にあるサテライト・コールセンター。“働きたいけどなかなか勇気の出なかったママと、人材を求める熊本の企業をつなぎます！”とホームページにある。



「定着する人材を採用し離職を防ぐ」。企業と人材と、その両方を支援する。2017年より熊本県が推進する「結婚・子育て応援企業」よかボス宣言企業の認定も受けている。

失業保険受給者への IT 研修



熊本電鉄菊池線「八景水谷」  
駅から徒歩3分。乗り換え駅  
でくまモンが出迎え。

「クライアントは考えている暇がない。クライアント以上にクライアントのことを考えなさい！」塚本氏の信条である。



## 2020.02.05 会津 13 蔵元「アイズーアイズ」東京デビュー

つくれば必ずヒット、と噂のデザイナー川本貞友氏  
<http://sadatomo.com/> が手掛ける会津の酒、新ブランド「アイズーアイズ」の都内初試飲会に参加した。会津産の酒米と水で仕込んだ 13 蔵元の統一ブランドという。

会津の郷土玩具「赤べこ」をモチーフにしたロゴ。販売を手掛けるのは、地域商社会津アクティベートアソシエーション。AIZ'S-EYES は会津米 AIZ'S-RICE とツイン・ブランド。

川本氏は、東京芸大卒後、電通のアートディレクターを経て起業。さまざまなブランドを手掛けるなか、地域活性にも関心が高く、未来を創る財団主催の地域おこし人サミットにも参加。活動は相互に共振している。



会津・宮城出身の両酒豪に囲まれて PR



ラベルは共通だが、各蔵元が仕込んださまざまな味わいの純米吟醸酒が並ぶ。

### 「13 蔵元えりすぐりの吟醸酒」



未来を創る財団では、“デザイン”を地域おこしの課題の 1 つとして、どのように活かすべきか、どのような次元で効果を仕組むべきか、目下研究中である。



## 2019.02.14 News 未来を創る財団「懇親会」

財団恒例のスイスワイン「シャスラ」を楽しむ懇親会を開いた。

日時：2020年2月14日（金）18:30～21:00

場所：霞が関「シーボニアメンズクラブ」



日ごろ、未来を創る財団の活動に応援、ご支援くださる方がた、知人、友人、お知り合い、ご家族でお誘いあわせいただき、國松会長はじめ財団の役員と懇親いただいた。

日本でシャスラワインが提供される機会は、過去に2、3度、しかるべきレストランでシャスラを楽しむ会が開かれた以外にはない。

今年も用意したのは、毎年取りよせるレマン湖畔 Aubonne 産の **Domaine du Moulin**。

秋のスイス国内品評会で、3度目の金賞を受賞した。

2017 online shop Wine What によれば；

「シャスラ」は、ワイン消費量、輸入量共に世界第8位のスイスが誇る国産白ワイン。

国外にはめったに出ない秘蔵の白ワインで、レマン湖畔の美しさをそのまま表現したこの土地の人びとの誇りであり、アイデンティティである、とある。

<https://www.wine-what.jp/wine/19629/>

出荷数量に限定があり、日本で飲める機会はあまりない。またぜひご参加ください。





## 2020.02.24 尾道市御調町・菅野地区「柿の里」

広島県尾道市、御調町・菅野地区  
鳥のさえずりと風の音しか聞こえない、  
この静かな山頂に小さな里山があります



で始まる柿の里。延々細い山道を登って  
行った奥に工房とカフェが姿を現した。



林。カフェでは柿ピザも食べさせる。高台のカフェからの眺望は桃源郷にふさわしい。大きなテーブルを囲んだカフェ店内には、いつまでもいたくなる時が流れる。



立ち去りがたい静かな時間に別れを告げる。

菅野は、お正月に縁起物として供える「串柿」を全国に届けていた。江戸時代から370年続く尾道市御調町の一大特産品だった。

最盛期には、青く澄み渡った秋空と、紅葉に染まった中、軒先や庭先に、串刺しされたオレンジ色の「柿の実」のカーテンがズラリと並び、息をのむような美しい風景だったという。近年放置されてた100年を超える渋柿の木。その青柿は防腐・防水・防虫・抗菌効果の高い染料。



水にも流せる無害のEco製品として着目した宗康司氏（尾道柿園代表）は、勤めを辞め故郷の復活を目指した。

柿渋だけでなく、食べて美味しい柿木を植

宗氏からは、単に柿渋の活用を図るといふより、かつての里山をとり戻し、多くの人びとにその良さを感じてもらふ地域づくりを感じる。

カフェで出すピザ窯





## 2020.02.25 「神石高原町」 訪問

広島県東部にある高原リゾート地「神石高原」。2004年、旧神石郡4町村合併で神石高原町と命名。この時点で標高500~700mの高原リゾートまち戦略ができていたといえる。

さわやかな神石（じんせき）高原に西日本最大級のドッグランがある。野犬、傷病犬を保護、訓練するピースワンコジャパンが運営する。専門のトレーナーが犬の適性をみきわめ、「人を助けてくれる犬」を育て、里親や様々な現場に

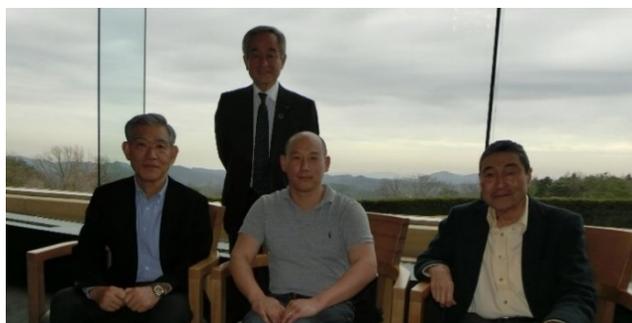


派遣している。糖尿病治療中の人の急激な血糖値低下を周囲に警告をする「低血糖アラート犬」や、農地をイノシシ、猿の獣害から守る「里守り犬」の育成にも取り組んでいる。



入江町長（中央）と森重副町長（左）と懇談

彼方に瀬戸内海を望む高台にある神石高原ホテル。昨年、地域おこし人サミットに参加された南相馬市の旧相馬藩34代当主相馬行胤氏は現在この高原で牧場を経営中。



人口8,800人。動物と星空、清麗な水と空気、人の輪が広がり、地産品に溢れる。子育て環境に恵まれ、働き場所も少なくない高原のまち。ユートピアの1つの形だろう。

神石高原町庁舎に入江嘉則町長を訪問（左）。昨年の地域おこし人サミットで発表いただいた「人と自然が輝く 高原のまち」づくりは、動物を大切にすユニークな取り組みへ続く。地域サポート人ネットワーク全国協議会の旗振りなど、町長の思いがこもった構想には、さらなる展開に期待がかかる。



ピースワンコジャパンのマネージャー氏、同行のイノウエ氏を交え、まちづくり役を受けもつ上山神石高原町参事と協議。（Peace Wonko Japan <https://peace-wanko.jp/>）



## 2020.02.26 News 総社アートハウス訪問

地域おこし人サミット・コアメンバーの1人、総社アートハウス池上眞平氏の地元、岡山県総社市を訪問した。岡山県は古来の備前焼、近代美術館の魁、大原美術館に連なり、アート施設や企画がひしめくアート王国。以下のメンバーがさらりとアートハウスに参集。



(右から順に)

- 松本剛太郎氏 (建築+アート)
- 大槻順一郎氏 (アクシス社代表)
- 丁田崇光氏 (文化振興課文化事業班主幹)
- 有田裕氏 (県環境文化部文化振興課課長)
- 伊永和弘氏 (現代アート、県実践講座講師)
- 林正実氏 (阿曾の鋳物師、鬼ノ城塾塾長)

総社アートハウスは旧総社町初代町長の旧宅で、池上眞平氏の実家。氏が地域アート活動の拠点にと、地元で活躍される伊永、松本両氏に託し、さまざまな企画が行われている。



総社アートハウス



特定地域の神社の祭神を集めて祀った総社。律令制由来の呼び方という。古代には出雲と並び大和政権が一目おいた有力地域の吉備、桃太郎伝説などでも有名。

2001年の開講以来114回を数える林正実塾長の「鬼ノ城塾」。会田誠・山口晃・名和晃平・ヤノベケンジ・小谷元彦・束芋など現代アート、隈研吾・西沢立衛・石上純也など建築家その他、錚々たるアート関係者が辺鄙な場所まで講師として来訪する。どんな吸引力が潜むのか。林氏にお尋ねすると、皆さん一杯飲むのが楽しみで、、と判然としない。王国には、吉備国伝来の魔力が秘められている。



(アートハウス 一隅)

# 『決算報告』

## 貸借対照表

令和1年12月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	3,440,718	4,102,191	△ 661,473
流動資産合計	3,440,718	4,102,191	△ 661,473
2. 固定資産			
(1)基本財産			
現金預金	7,000,000	7,000,000	0
基本財産合計	7,000,000	7,000,000	0
(2)その他固定資産			
敷金	168,480	168,480	0
その他固定資産合計	168,480	168,480	0
固定資産合計	7,168,480	7,168,480	0
資産合計	10,609,198	11,270,671	△ 661,473
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. 一般正味財産	10,609,198	11,270,671	△ 661,473
(うち基本財産への充当額)	( 7,000,000 )	( 7,000,000 )	( 0 )

(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	10,609,198	11,270,671	△ 661,473
負債及び正味財産合計	10,609,198	11,270,671	△ 661,473

正味財産増減計算書

平成31年1月1日から令和1年12月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	( 5,886,516 )	( 9,746,490 )	( △3,859,974 )
受取寄付金	5,886,516	9,746,490	△ 3,859,974
受取利息	( 555 )	( 76 )	( 479 )
預金利息	555	76	479
その他収入	( 31,360 )	( 0 )	( 31,360 )
雑収入	31,360	0	31,360
経常収益計	5,918,431	9,746,566	△ 3,828,135
(2) 経常費用			
事業費	( 5,829,459 )	( 7,726,386 )	( △1,896,927 )
情報発信・提供費	(706,793)	(1,012,460)	△ 305,667
原稿料	154,000	111,370	
翻訳料	0	576,965	
印刷費	38,670	121,776	
ホームページ費	514,123	97,459	
郵送料	0	104,890	
研究活動費	(160,700)	(22,304)	138,396
旅費交通費	160,700	22,304	
コンファレンス開催費	( 3,549,114 )	( 4,724,006 )	△ 1,174,892
会場費	1,623,158	2,027,896	
会議費	0	913,750	
印刷費	569,527	405,600	

旅費交通費	1,356,429	1,076,760	
支払手数料	0	300,000	
公益活動等支援事業費	( 1,412,852 )	( 1,967,616 )	△ 554,764
給料手当	630,000	1,260,000	
賃借料	782,852	707,616	
管理費	( 750,445 )	( 1,412,368 )	( △ 661,923 )
給料手当	242,436	540,000	△ 297,564
租税公課	70,000	160,964	△ 90,964
旅費交通費	24,540	0	24,540
賃借料	335,508	303,264	32,244
支払手数料	20,948	22,896	△ 1,948
水道光熱費	27,889	7,644	20,245
支払報酬	29,124	361,800	△ 332,676
雑費	0	15,800	△ 15,800
経常費用計	6,579,904	9,138,754	△ 2,558,850
当期経常増減額	△ 661,473	607,812	△ 1,269,285
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
経常外損益額			
当期一般正味財産増減額	△ 661,473	607,812	△ 1,269,285
一般正味財産期首残高	11,270,671	10,662,859	607,812
一般正味財産期末残高	10,609,198	11,270,671	△ 661,473
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
II 正味財産期末残高	10,609,198	11,270,671	△ 661,473

## ～ 『未来への投資』 への いざない ～



明治維新や戦後の復興その他、私たちは、意識の改革による社会変革によって、困難を克服し、新たな活力のある社会を構築してきた歴史をもっています。

少子高齢化、政府財政危機、厳しい国際競争と政治情勢など、さまざま困難な壁に立ち向かうべき今もまた、日本のよさとその潜在能力を承継し、変革の再現と再構築を果たすべく、当財団は『社会への提言』と『明るい未来をめざす行動』を推進します。

喝采が芸術家を育てると同様、財団活動には声援がなによりの味方です。

『未来への投資』として、財団へのご声援、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



### みらい『ミレニアム倶楽部』

随時の賛助寄付金：特定のテーマ・プロジェクトなどに賛同の賛助寄付金

個人会員：10万円（年） 準会員（35歳以下の個人会員）：3万円（年）

法人会員：100万円（年）

口座：三菱東京UFJ銀行青山通支店 普通預金 0214497 未来を創る財団

未来を創る財団は政治、宗教その他に対し一切関与、代表しない独立した第三者機関です。

（規約次ページ）

## みらい『ミレニアム倶楽部』規約

第1条 本会はみらい『ミレニアム倶楽部』（以下本会という）と称する。

第2条 本会は、一般財団法人未来を創る財団（以下財団という）の活動を共有する目的で設置する。

第3条 本会は財団内に事務局をおく。

第4条 本会の代表者は財団の代表者が兼務する。

第5条 本会につきの会員をおく。

- 1 個人会員
- 2 個人準会員（35歳以下の方）
- 3 法人会員

第6条 本会の趣旨に賛同する個人（または法人）は、本申込書に氏名および住所（または法人名、代表者名および所在地）を記載のうえ、財団あて提出する。

第7条 会員は、つぎの年会費を財団の指定口座に振込む。

- 1 個人会員 10万円（暦年）
- 2 個人準会員（35歳以下の方） 3万円（暦年）
- 3 法人会員 100万円（暦年）

第8条 会員はいつにても、入会の取消しまたは退会することができる。

第9条 年会費の振込み以前に退会した会員は、その年度の会費の負担を要しない。

第10条 本規約の成立および変更は財団の理事会の議決によって行う。

口座：三菱東京UFJ銀行青山通支店 普通預金 0214497 一般財団法人 未来を創る財団

## みらい『ミレニアム倶楽部』入会申込書

一般財団法人 未来を創る財団 殿

私（または当法人）は、貴財団の「未来を創る財団賛助会」に賛成し、個人会員（または法人会員）として入会を申込みます。

（会員は「未来を創る財団賛助会」の規約により、各年会費の払込みまで、いつでも入会取消しまたは退会することができます。）

西暦 年 月 日

住所（または所在地）

氏名（または法人名および代表者名）

\* お申込みは Fax03-5489-0506 または

・ メール [abrighterfuture@theoutlook-foundation.org](mailto:abrighterfuture@theoutlook-foundation.org) にてお願い申し上げます。

## 一般財団法人 未来を創る財団(概要)

事業目的	「新たな日本」構築にむけた人としくみづくりを通じて”次世代に明るい未来をおくる”
事業内容	社会の活性に向けた諸研究の提言、社会活動事業の交流 他
設 立	2013年8月21日
主たる事務所	東京都渋谷区恵比寿南1-7-8
	会長 國松 孝次 理事長 石坂 芳男 (代表理事) 副会長 藤原 豊
事務局	事務局長 麻植 茂 (理事) 事務局次長 内海 隆樹
アドレス	abrighterfuture@theoutlook-foundation.org
連絡先	麻植 茂 (事務局長) 090-3330-3584
ご支援は・・・	<a href="#">みらい『ミレニアム倶楽部』</a> にご協力をお願いいたします

会長	國松 孝次	特定非営利活動法人救急へり病院ネットワーク 会長
評議員	伊藤 博士	前公益財団法人トヨタ財団常務理事
	元 鍾 鶴	韓国租税財政研究院財政事業評価センター所長、経済学博士
	マイケル・カワチ	米弁護士、カリスマキャピタル代表
	榊原 圭子	東洋大学社会学部社会心理学科 准教授、博士 (保健学)
	西川 広親	独立行政法人勤労者退職金共済機構理事
	浜村 浩幸	太陽グラントソントン税理士法人代表社員
理事	石坂 芳男	理事長代表理事、トヨタ自動車株式会社顧問、同社元副社長
	麻植 茂	事務局長、元公認会計士
	石黒 美幸	弁護士、長島・大野・常松法律事務所
	岡村 進	株式会社人財アジア代表取締役
	河合江理子	京都大学大学院総合生存学館教授、BIS、OECD 勤務後現職
	武田 真彦	前一橋大学国際公共政策大学院教授、元日銀、元 IMF
	毛受 敏浩	公益財団法人日本国際交流センター執行理事
監事	佐藤 明夫	弁護士、佐藤総合法律事務所代表
	藤沼 亜起	公認会計士、元国際会計士連盟 (IFAC) 会長
アドバイザー	鈴木 崇弘	城西国際大学大学院 国際アドミニストレーション研究科客教授

### みらい『ミレニアム倶楽部』年会費

個人会員：10万円 (年) 準会員 \*：3万円 (年) \* 30歳以下の会員

法人会員：100万円 (年)

振込み口座：三菱東京UFJ銀行青山通支店 (普) 0214497 (一財) 未来を創る財団

## 一般財団法人 未来を創る財団



事業目的	「新たな日本」構築にむけた人としくみづくりを通じて”次世代に明るい未来をおくる”
事業内容	社会活動事業の交流、社会活性化に向けた諸研究提言他
主たる事務所	東京都渋谷区恵比寿南 1-7-8
お問い合わせ	<a href="mailto:abrighterfuture@theoutlook-foundation.org">abrighterfuture@theoutlook-foundation.org</a>
ホームページ	<a href="http://www.theoutlook-foundation.org/">http://www.theoutlook-foundation.org/</a>
「未来への投資報告」発行責任者	麻植 茂（事務局長）090-3330-3584



当財団は政治、宗教その他に対し一切関与、代表しない独立した第三者機関です。

© 2019 The Outlook Foundation, All rights reserved.